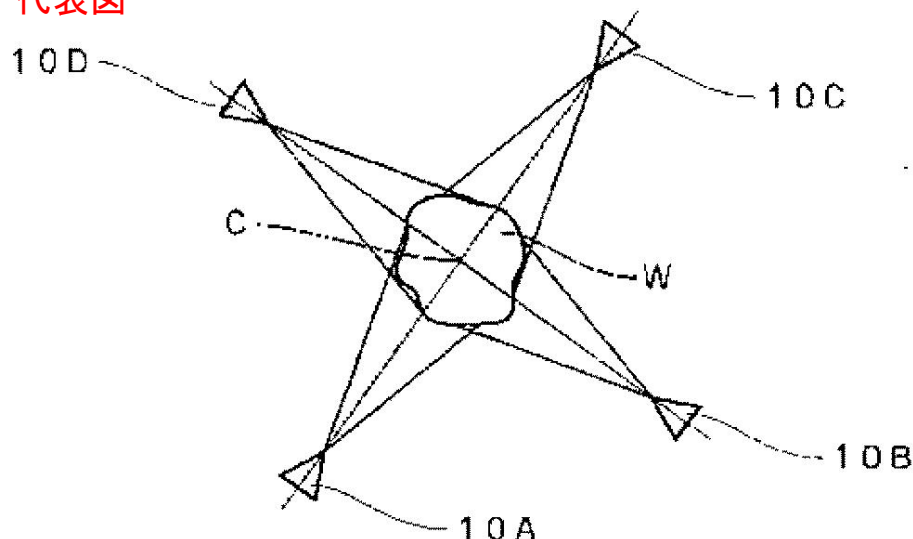


発明の名称	3次元形状データの作成方法及びプログラム		
出願人/権利人	株式会社イノベーション・アイ	発明者	田中 健治、中村 薫
出願日	平成28年8月3日	出願番号	2017-536719
公開番号	WO2017/033692	特許番号	6647548
法的状態	登録中		

代表図



10A～10D 3Dスキャナー
W 測定対象物
C 基準軸線

発明の概要

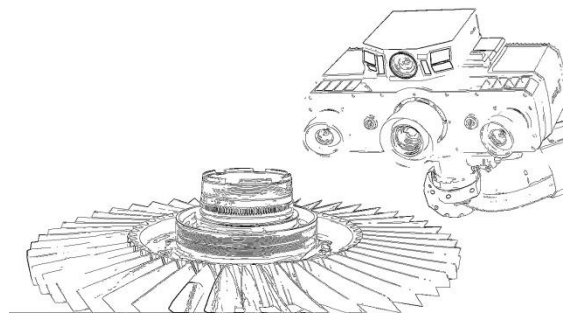
高速スキャンによって短時間で点群データを取得し、合成3次元形状データを作成する方法

特徴

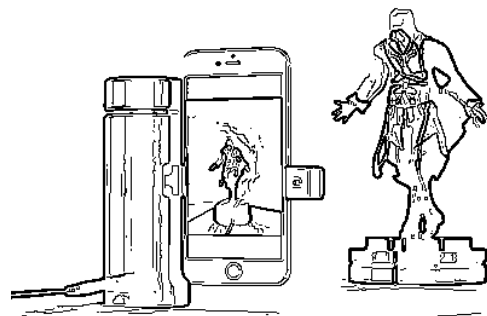
高速スキャンによって短時間で、計測用のターゲットを使用せず、点群データを取得して結合する3次元形状データの作成方法である。

本発明では、測定対象物Wを360度スキャンする場合にも複数の方向から1フレームだけスキャンする。例えば90度毎の4方向から1フレームを1回ずつスキャンして点群データを取得すればよいので、短時間でスキャンを行えて、コンピュータの処理負荷が軽減される。そのため、比較的低いスペックのハードウェアでも処理を行える。また、3Dスキャンと3次元空間の構築を別々に行えるので、3Dスキャンに要する時間が短くて済む。

応用の可能性



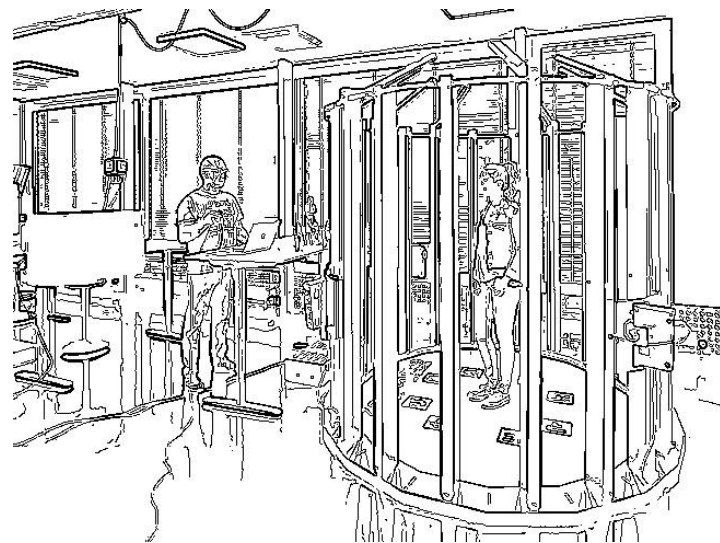
製造業



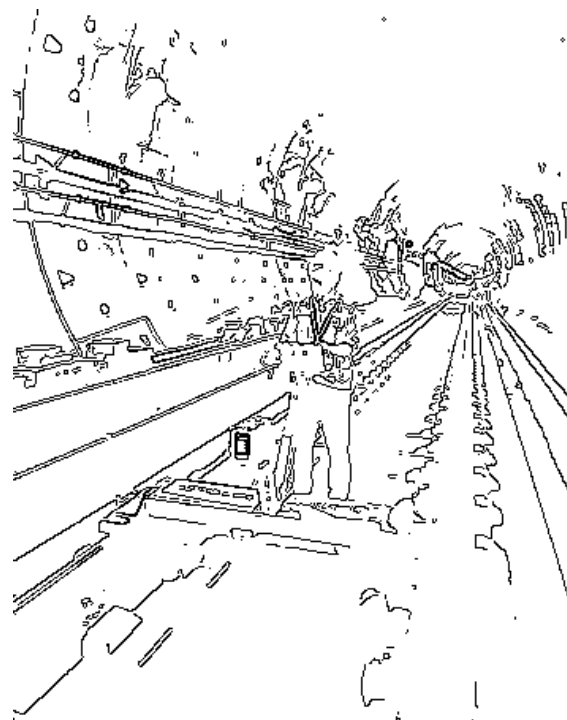
ゲーム、マルチメディア



医療



セキュリティ



建設・土木

など

応用の可能性

- ・製造業
- ・ゲーム、マルチメディア
- ・医療
- など

- ・セキュリティ
- ・建設・土木

本技術の活用が見込める企業の一例

- ・株式会社トプコン
- ・株式会社キーエンス
- ・4Dセンサー株式会社
- ・丸紅情報システムズ株式会社
- ・日本3Dプリンター株式会社
- ・オムロン株式会社
- ・日本電産トーソク株式会社

- ・株式会社ノア
- ・株式会社スペースビジョン
- ・株式会社デンタス
- ・パルステック工業株式会社
- など

株式会社イノベーション・アイの本発明に関する最新動向

- ・株式会社イノベーション・アイのホームページ(<http://innovation-i.jp/index.html>)には、本件特許に関連する情報は掲載されていない。